

[様式 9 - 1]

## 福祉サービス等第三者評価結果

## 総合評価

受診施設名	社会福祉法人上賀茂福祉会 上賀茂こども園	施設 種別	保育所型認定こども園
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会		

令和 2 年 11 月 27 日

総 評	<p>近隣は、上賀茂神社や賀茂川がある歴史的風土保存地域であり、歴史と緑豊かな自然に囲まれた穏やかな環境にあるこども園です。一方で地下鉄北山駅を中心に住宅開発も進んでおり、ここ数年で入園希望者が増加傾向にあり、上賀茂こども園として本園から徒歩圏内に2カ所、別棟の保育室を拡充すると共に、小規模保育事業（乳児対象）も開設しています。また、主に職員の子どもを受け入れる企業主導型保育事業（定員18名）の整備も予定しています。上賀茂こども園は、もとは学習塾でしたが昭和31年に近隣の農繁期の子どもを預かってほしいという地域住民の声に応える形で、上賀茂地域における唯一の認可保育園として開園し、平成30年4月1日には保育所型認定こども園に移行した園です。</p> <p>保育方針に「生き生きと楽しく 創造性を育成」を掲げ、特に絵画などの表現活動による創造性を柱とした保育に力を入れており、集団生活を通して、社会性や自発性と共に、創造性などの能力を育み、バランスのとれた性格育成を目指しています。養護と教育が一体となった生活の場として、心と体を豊かにする保育に取り組んでいます。</p> <p>地域の子育て家庭の為に施設として、園庭開放、子育て講演会、育児相談など、子育て支援事業にも取り組んでいます。法人として地域の子育てニーズに応えられるよう様々な取り組みを進めています。それらの事業計画や取り組み内容を、今後も継続して職員に丁寧に説明し、実施されると良いでしょう。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員からの提案や要望を提案書として受け付けており、年10回程度提出があります。その内容は管理委員会で話し合い、改善に繋がると共に、結果は全職員に周知しています。</li> <li>育児休業明けの職員などからの意向に出来る限り対応し、それぞれの職員状況に応じた柔軟な勤務体制構築にも努めています。</li> <li>子ども発達チェックシートを年3回作成し、一人一人の発達に応じた保育の提供に努めています。特に配慮が必要な児童に対しては3ヶ月毎に保護者面談を行い、より細かな支援を行っています。また、職員全体から意見を集め、各年度末に指導計画の見直しを行っています。</li> </ul>
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中・長期事業計画については現在策定しておりません。今後、策定されるとより良いでしょう。</li> <li>苦情解決の対応を整理・マニュアル化し、体制を明確にしています。今後は、園としての対応やそれに対する方針等を、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、以前のように公表するとより良いでしょう。</li> <li>転園後の相談窓口の案内等について、文書化するとより良いでしょう。</li> </ul>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

## 【保育所版】 評価結果対比シート

(注)判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご留意下さい】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	上賀茂こども園
施設種別	保育所型認定こども園
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会
訪問調査日	2020年11月27日

**I 福祉サービスの基本方針と組織**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	a
[自由記述欄]					
・保育理念、保育方針、保育の目標は明文化されており、園内の掲示、重要事項説明書、園パンフレット、ホームページ等に明記しています。その内容は、全職員に配布し、年度初めの職員会議で読み合わせを行うと共に、年2回の職員個人面談時にも理解を促しています。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	a
		3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	a
[自由記述欄]					
・近隣の保育ニーズについて、保育関係団体からの情報や京都市公表のデータ、園見学に来られる保護者からの意見等で把握に努めています。また、それらの情報をもとに法人施設の拡充を図っており、取り組み内容について「保育園経営の理解度に関する職員アンケート」を副主任以上に実施し、その結果を全職員に配布し、職員に内容を知ってもらえるよう努めています。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	b
		5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	b
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	b
		7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	a
[自由記述欄]					
・単年度の事業計画は、ホームページでの公表や保護者会総会で保護者等への周知に努めています。中・長期事業計画については現在策定していません。今後、策定されるとより良いでしょう。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	a
		9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	a
[自由記述欄]					
・園長の他に、室長、教頭、主任、副主任を管理者として配置し、管理者は毎日の昼ミーティング、月1回開催する全体職員会議、オンラインでの情報発信や運営について話し合う管理委員会、2ヶ月に1回開催する各クラス会議、OJT会議等に出席し、園の方針に沿った保育が実践されるよう取り組んでいます。					

**II 組織の運営管理**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-1 管理者の責任と リーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	a
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	a
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	a
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	a

[自由記述欄]

・施設長の役割や責任について、園則に示されています。各会議等においても、園の方針に沿った保育が展開されるよう園長と管理者が連携し、その充実に努めています。遵守すべき法令等については、職員会議や事務所内への張り出し等で確認し周知に努めています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・ 育成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事 管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	a
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	a
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	a

[自由記述欄]

・職員からの提案や要望を提案書として受け付けており、年10回程度提出があります。その内容は管理委員会で話し合い、改善に繋げると共に、結果は全職員に周知しています。また、雇用の状況が優良であると認められる中小企業に対して厚生労働省が認定を行う「ユースエール認定（若者雇用促進法に基づく認定制度）」を取得し、採用活動や育成活動に取り組んでいます。

・年2回、職員個別面談を実施し、管理職に対しては園長が、それ以外の職員は教頭が面談をし、意向や要望を次年度の体制に活かせるよう取り組んでいます。面談時には自己評価表・職員アンケートを実施し、保育の振り返りや法人が求める職員像についての理解が促されるよう取り組んでいます。また、育児休業明けの職員などからの意向に出来る限り対応し、それぞれの職員状況に応じた柔軟な勤務体制構築にも努めています。衛生委員会を月1回実施し、産業医と連携を図っています。また、職員の為の労働相談窓口を設置しています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・ 育成	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	a
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	a
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	a
	II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる 専門職の研修・育成が適切に行わ れている。	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	a

[自由記述欄]

・きょうと福祉人材育成認証制度を取得しており、新人育成や職員育成の為のフォローシート、0JTマニュアル等の仕組みを構築しています。キャリアパス制度も処遇改善の金額を含めた内容が明示されており、誰がどういった内容で処遇改善が支給されているか公表し、支給内容の透明性に努めています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-3 運営の透明性の確保	II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	a
		22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	b

[自由記述欄]

・園のホームページに、財務諸表、全体的な計画などと共に苦情解決システムに基づいた仕組みも公表しています。

・園の事務、経理等のルールがあり、職員に周知されています。今後は、公認会計士等による外部監査を実施し、経営内容のチェックや改善に繋げるより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-4 地域との交流、地域貢献	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	a
		24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	a
	25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	a	
	26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a	a	
	27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a	a	

[自由記述欄]

・理事や評議員に児童民生委員が就任しているほか、上賀茂子育てネットワーク会議や北区の園長会などを通じて、地域のこども園・保育園・幼稚園・児童館・小学校などと連携を図り、地域の福祉ニーズの把握と福祉サービスの提供に努めています。

・「かみいちゃん広場」と称する子育て支援事業を実施しており、会館の日を通じて地域在住の方々の特技を活かした催しや子育て講演を行ったり、毎月第二・第四・第五火曜日に園庭解放を行うなど、上賀茂こども園が持つ機能を地域に還元しています。また、そういった利用者のニーズを年度末のアンケートで収集し、今後の運営に活かしています。その内容をチラシに掲載し、近隣の関連施設に配布しています。

**Ⅲ 適切な福祉サービスの実施**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	a
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a	a
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	a
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	a
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a	b

[自由記述欄]

・個人情報や人権保護に対するマニュアルを作成すると共に、職員アンケートにマニュアルの内容理解を促す項目を設けたり、北区の人権啓発活動講習会へ職員参加を促すなど、職員の理解を深める取り組みを行っています。写真の使用などは、事前に保護者の了解を得ています。

・園見学は随時受け入れています。また、ホームページ・区役所・関連施設などに閲覧可能な情報を置き、情報提供に努めています。保育の変更がある際は、転園先に保育要録の送付を行うなど継続性に配慮しています。今後、転園後の相談窓口の案内等について、文書化するとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	b
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	a
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	a

[自由記述欄]

・苦情解決の対応を整理・マニュアル化し、体制を明確にしています。ホームページや園内掲示で苦情解決システムとして担当者を公表すると共に、保護者アンケートを実施し、回答内容のフィードバックを行っています。また、内容によっては、担当者だけでなく職員全体で意見に対する話し合いを持ち、園として対応するよう心がけています。今後は、園としての対応やそれに対する方針等を、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、以前のように公表するとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	a
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	a
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	a
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a	a

[自由記述欄]

・ヒヤリハットを作成し、パート職員を含め全職員が記入できるようにしています。対策や要因分析を会議で話し合い、事故防止に努めています。災害時の対応マニュアル、感染症予防マニュアル、不審者侵入時対応マニュアルが整備されています。保護者への一斉メール配信や備蓄倉庫も整備しており、自然災害等の発生時に対応出来るよう備えています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-2 福祉サービスの質 の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な 実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a	a
		41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	a
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉 サービス実施計画が策定されてい る。	42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a	a
		43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	a
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に 行われている。	44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	a
		45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	a

[自由記述欄]

- ・保育について標準的な実施方法を文書化しています。また、文書化した内容を月1回の職員会議で確認し、周知を行うと共に、現状に応じた内容に適宜修正を行っています。
- ・子ども発達チェックシートを年3回作成し、個々の発達に応じた保育の提供に努めています。特に配慮が必要な児童に対しては、3ヶ月毎に保護者面談を行い、より細かな支援を行っています。また、職員全体から意見を集め、各年度末に指導計画の見直しを行っています。
- ・保育の記録に関して記入内容に大きな差異が出ないよう、記入項目の整理を行い職員へ周知しています。また、園管理システムを活用し、情報の共有化をより簡潔に行えるよう記録の管理体制の構築に努めています。

**A-1 保育内容**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(1) 全体的な計画の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	a	a
		47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	a
		48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	a
		49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	a
		50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	a

[自由記述欄]

・保育の方針や目標を掲示し、年齢別の保育について利用者や職員が理解しやすいよう工夫しています。一人一人の子どもの姿を職員で共有し、保育が展開されています。

・葵プロジェクトや上賀茂夏まつりへの参加など地域行事を大切にされています。周辺地域には子どもたちが社会体験ができる環境が多くあり、それらの地域行事への参加に努めています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	51	⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		52	⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	a

[自由記述欄]

・0歳児クラスは担当制、1～2歳児クラスは緩やかな担当制で保育されています。子どもたちへの言葉がけも優しく、心の安定をはかることを大切にしています。3歳児以上のクラスを含め、毎月のクラス便りで保育内容について保護者に知らせています。特に絵画表現、造形活動には力を入れており、園外保育で拾った自然物を使用するなど、日常生活の中で自然と絵画や造形に取り組めるようにしています。

・医療的ケア児の受け入れには、看護師を配置するなど、すべての子どもが適切な養護と教育が受けられるよう取り組んでいます。

・小学校との連携に取り組んでおり、連携事業後に研修会を行い、事業の成果を検証する機会を確保しています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	a
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	a
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	a
	A-1-(4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	a
		61	② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a	a

[自由記述欄]

・健康管理や食事についてのマニュアルが整備され、子どもの健康管理や食事が適切に行われるよう努めています。

・保健だよりを発行し、子どもの健康に関する情報を保護者に提供しています。地域の特産野菜（茄子や葱など）を取り入れた給食の献立や、除去フリーの食材を使用するなど、アレルギー疾患を持つ子に配慮した給食提供に努めています。



**A-2 子育て支援**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	a
	A-2-(2) 保護者の支援	63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	a
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び 虐待の予防に努めている。	a	a
	A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	a

[自由記述欄]

- ・個人懇談・クラス懇談会・保育士体験を通して、園の保育内容が理解されるよう取り組んでいます。日々の保護者への連絡について、連絡帳の記述項目を定めるなど、職員によるばらつきが生じないよう工夫されています。連絡帳は使用后、保護者に思い出として渡しています。
- ・保護者の保育士体験を行っており、実際に園の保育実践の場に保護者が参加する事で、園の保育方針を実感してもらえるよう取り組んでいます。
- ・職員の個別自己評価を年2回実施し、園長や教頭との個別面談で内容を確認し、保育の振り返りと質向上に繋がるよう取り組んでいます。また、行事ごとに職員アンケートを実施し、次の行事に反映するようにしています。